

# 第9回「渋谷音楽祭」開催

## NHKアート 水彩画ペイント・システム活用 「こころつなぐ・コンサート」

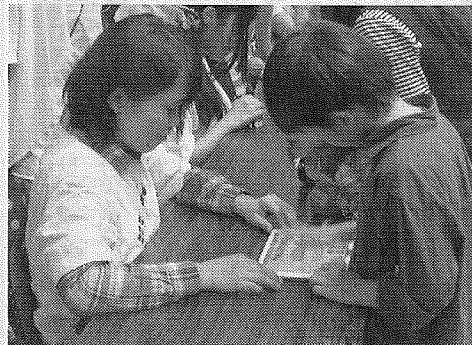
聴覚に障害のある方と聴者が一緒になって音楽の感動を体感できるコンサート、第9回渋谷音楽祭ハートフルミュージック・コネクション

「こころつなぐ・コンサート」(主催・渋谷音楽祭実行委員会)が10月19日、東京都渋谷区の本経済大学大学院246ホールで開催された。

同コンサートには、15年にわたり「音楽を楽しむことに耳の障害は関係ない」をコンセプトに各地で公演を行っている、ろう者・聴者混成バンド



「渋谷音楽祭」こころ・つなぐコンサート」の様相



お絵描きに興じる子ども

「こころおとのメンバーが出演した。

同コンサートを企画するNHKアートは、前回のコンサートでは、楽器の音を色で表すインタラクティブ映像や振動で音を伝えるシステムを使用して音楽を体感してもらう企画を行った。今回のコンサートでは、ライブ前に行うワークショップにおいて同社が開発した「水彩画ペイント・システム」(タフレット端末上で導電性の毛筆「デジタル絵筆」や指先を使用して、自由に彩色や混色ができ

る水彩画パレット状のインタフェースにより、簡単に絵を描くことができるシステム)を使い、来場した子どもたちが描いた絵が、ライブの中で音と連動するインタラクティブ映像に使用された。

ライブ前に「こころおと」の「見ているだけじゃなくて参加しよう!」の一言から始まったワークショップでは、来場した約50名の子もたちが参加し、虹やウサギ、カボチャなどの絵を楽しく描いていたという。

人、聴覚に障害のある方と聴者とが垣根なく音楽の感動を体感し、最後の曲となった「スケッチブック」では、子どもたちの描いた絵が映像として映し出され、会場にいる全員が笑顔があふれるエントラニングとなった。

NHKアートは、今回のコンサートで同社の専門性を生かし、映像や照明などを含めた全体を設計からオペレーションまでを担当。参加者と一緒に音楽空間を創り上げていた。

今後も「水彩画ペイント・システム」をはじめとしたアートとテクノロジーを融合した映像コンテンツや企画を展開し、社会貢献をしていくとしている。

ワークショップ中は、来場者がバンドのメンバーとともに楽器に触れ、音からあふれる映像を楽しんでいた。

コンサートでは、参加者とバンド、子どもと大